

第37回日本小児皮膚科学会学術大会 イブニングセミナー 1

皮膚科におけるこれだけは知っておきたい 光線・レーザー治療の基礎知識

日時：7月14日(日) 16:40～17:40

会場：第2会場（東京プリンスホテル マグノリアホール）

座長：須賀 康 先生（順天堂大学浦安病院皮膚科教授）



◇演題 これだけは知っておきたい 炭酸ガスレーザーの基礎知識

◇演者 尾見 徳弥 先生

クイーンズスクエアメディカルセンター 皮膚科
日本医科大学皮膚科客員教授

レーザー・光線治療は皮膚科領域において肝斑、雀卵斑、老人性色素斑などのシミと呼ばれる表在性色素性病変の他に血管腫、太田母斑、扁平母斑、毛細血管拡張症などへの効果も認められ、疾患によっては健康保険適応の治療となっている。さらに他の一般皮膚疾患への治療効果も認められている。皮膚美容の領域においても、脱毛や痤瘡に用いられ、いわゆるシワ、たるみに対する美顔治療としての有効性は一般消費者にも認識されている。

レーザー・光線治療器は、レーザー光の基となる光線の波長の違いも関連して多種多様の装置として開発されている。このうちでも炭酸ガスレーザーはもっとも基本的に臨床応用できるレーザー装置といえ、上皮性の隆起性皮膚腫瘍の除去には基本的に適応となり、その他耳鼻科領域での下鼻甲介焼灼、泌尿器科、婦人科領域でも用いられる。また、皮膚表層に作用させて美顔治療としても用いられる。

今回は炭酸ガスレーザーの代表的な機種の一つであるSmartXIDE (DEKA, Italy)を中心に炭酸ガスレーザーの概説や臨床応用について述べたい。



◇演題 エキシマライトを使った外来診療： 当科における各種皮膚疾患の治療経験

◇演者 春名 邦隆 先生

順天堂大学浦安病院皮膚科准教授

エキシマライト - マイクロ[®](DEKA社製)は中心波長 308nm の紫外線を照射する器械であり、小型で省スペース、最大照射野も 5×6cm と広く、低コストでメンテナンス性にも優れている。尋常性白斑や円形脱毛症では、早期の効果発現が期待できる傾向があり、照射時にはオクソラレン軟膏を併用する必要がない。さらに白斑の場合は、周囲の健康皮膚の色素増強により、かえって病変周囲が目立つ

トラブルを最小限に抑えてくれる。また、円形脱毛症では他療法に治療抵抗性の症例でも改善がみられた。なお、小児の症例においては、その効果と発がん性も含めた副作用について、家族からのインフォームド・コンセントが十分に得られた場合にのみ施行しており、白斑、円形脱毛症の患者を中心に良好な成績を得ている。今回の講演では、当教室における実際の症例を提示しながら、エキシマライトの治療効果とその可能性を紹介したい。